

大阪湾漁場環境速報

平成19年12月11日発行
兵庫のり研究所

(水温) 表層は湾内13~17 台で、平均**16.3**。 平年(過去10年平均16.8)比0.5、 昨年(16.7)比0.4 それぞれ低い。 -10m層は平均**16.3** で、平年(17.1)比0.8 低い。

(塩分) 表層平均**32.94**psu(平年 31.99)。 -10m層平均**32.99**psu(平年32.21)。 8月以降、降水量が少ないこともあり、大阪湾全般に塩分濃度は高い状況。また、紀伊水道から流入する海水の影響を受けている海域では、先月同様33psu以上の高い値を示している。

(栄養塩、他) 表層の窒素濃度は平均**9.4**µg-at/L、リン濃度は平均**0.75**µg-at/L。 窒素は平年(12.2)よりやや低く、リンはほぼ平年(0.77)並の値を示している。 -10m層(平均)は、窒素**9.0**µg-at/L、リン**0.74**µg-at/L。 表層塩分が低い湾奥部(St.018)では、小型珪藻スケレトネマの発生量が多かった。また、その他の海域では、珪藻は少なく、播磨灘で発生しているタラシオシラ(*Th.diporocyclus*)も散見される程度であった。透明度は3.0~7.5mで、平均5.3m。 pHは表層平均8.18。

(コシノディスカス)

St.010 -10m層：海水1Lあたり100細胞、その他：0~20細胞

上段(今回値)	平成19年12月10日調査
中段(昨年値)	平成18年12月7日調査
下段(平年値)	

調査地点	水温(°C)	塩分(psu)	三態窒素(µg-at/L)	リン酸(µg-at/L)
04	17.5	33.49	6.5	0.60
	18.0	32.84	7.1	0.58
	17.8	32.75	8.5	0.62
05	16.5	33.05	7.7	0.80
	16.8	32.18	6.9	0.69
	16.9	31.98	9.9	0.75
06	16.3	33.02	6.5	0.72
	16.9	32.19	6.7	0.68
	17.0	32.08	9.4	0.75
07	17.2	33.23	6.9	0.68
	17.1	32.28	7.2	0.70
	17.2	32.17	9.0	0.75
08	17.5	33.43	6.1	0.62
	17.9	32.80	7.0	0.61
	17.4	32.48	9.3	0.68
09	17.4	33.44	6.1	0.61
	17.8	32.72	7.1	0.61
	17.4	32.52	9.2	0.68
010	15.2	32.68	10.9	0.75
	15.6	31.94	13.2	0.85
	16.2	31.90	12.5	0.77
012	14.6	32.30	15.9	0.91
	16.9	32.20	7.8	0.74
	16.2	31.48	15.3	0.83
013				
	15.9	30.68	25.7	1.15
	13.6	31.27	25.1	1.14
016	14.9	30.49	31.3	1.29
	15.5	30.62	24.6	1.00
017				
	15.7	29.38	42.9	1.49
	13.1	27.81	62.9	1.95
018	15.2	29.69	40.6	1.56
	15.1	28.54	48.8	1.92
	16.4	33.06	7.2	0.80
S1	15.9	31.83	14.5	0.85
	16.6	31.86	13.3	0.83
	15.7	32.81	10.5	0.83
S2	14.7	30.52	29.5	1.24
	15.9	31.21	18.9	0.87
	16.3	33.02	5.7	0.71
S3	17.2	32.32	7.2	0.69
	17.2	32.17	9.3	0.75
	17.2	33.40	6.6	0.63
S4	17.3	32.57	8.1	0.65
	17.6	32.64	9.9	0.68

